

進路を見失うことなく 「夢」に向けて力強く歩みたい

岡山商科大学学長 井尻 昭夫



新年を迎え、いつも今年は大きな飛躍の年でありたいと願うのは誰しものことであろう。昨年末のアメリカ大統領選挙で大きな転換期を迎えるに至った。経済

同友会の新年会の挨拶でも、誰しもがどのようになるかわからないというのが共通に理解するところであった。大統領就任式以来、確かにいくつかの方策が見えてきている。しかし、世界をリードするアメリカだけに、その影響が及ぶところも広範囲であり、わが国にも相当の影響を及ぼすことであるとは誰しもが考えるところであるが、我々もまた、冷静に時の流れに沿って新しい流れを汲み取らなければならない。我々の近々の課題は大学を取り巻く直接的な環境の変化である。2018年問題として問われている環境の変化に即した新しい姿勢が必要である。大学人にとって、いかに学生を確保するかがますます重要な課題となってきた。ここに至りては本学の基本姿勢は3つのポリシー(学位授与・教育課程・入学者受け入れ基本方針)に具現されることになった。したがって、これからの進む道導を明確化することにできたことは一つの進歩である。ところで、大学環境の流れはどのようなものであろうか。日々文部科学省からの通達等を通して知ることができるが、もっと基本的な「流れ」がどこにあるのか、今一つ明確に捉えたいのが実情である。過日、中国の大学でシ

ンポジウムがあったが、そのときのテーマが「応用型人材の育成をどのように捉えるか」というものであった。確かに、本学には最近の動きとして1年留学を希望する留学生が増えてきた。例えば、中国の大学で3年間学んだ後に日本へ1年間留学するというパターンが定着してきており、日本での留学で、理論と実践との融合を図る流れが年々高まってきているように思われる。

本年度は、昨年にもまして資格試験合格者を数多く輩出できた。また、スポーツ面においても、優れた学生を輩出することができた。いずれも数年前から意識してその環境を整備してきた成果が、学生諸君の活躍という形で出てきたのであり、感謝している。そして、振り返り、リーダーとして流れを読む力量が問われることを悟る。混沌とした世界情勢の中にあって、最近の大学環境の変化と流れを的確に把握し、全学上げて英知を結集して、本学ならではの学生を磨き上げる環境を整備して行きたいと考える今日この頃である。先日商師会と並び、商税会がOB有志によって立ち上げられた。岡山県を中心に商業科系教員は300名になろうとし、税理士として活躍するものも100名に達しようとしている。このほか、FP、宅地建物取引士をはじめ、多くの有資格者が増えてきた。これぞ本学の狙うところであり、岡山の地において、社会科学に特化した大学としてのブランディングが多くの学生諸君のご尽力で次第に確固たるものになりつつある。ありがたいことと感謝している。これからそれぞれ部署のスタッフが専門スタッフとして英知を出し合い、学生を「磨く」ことに専念してゆきたい。

CONTENTS

<商大トピック>

- 海田番茶づくり体験について ●社祭りについて
- 岡山商科大学研究ブランディング事業 ●3つのポリシーについて

<情報アラカルト>

- 2016年度部活動戦績 ●税理士科目計4科目合格
- ボウリング部の活躍 ●私立大学等改革総合支援事業

商大 トピック

Topic

1

海田番茶づくり体験について

2016.8.2~2016.8.7

2016年8月2日～7日、経営学部の学生が7名が美作市海田地区において番茶づくり体験を行いました。これは、室町時代から続く伝統的番茶製法と茶畑景観の保存に取り組んでいる地元の組織「海田天日干し番茶」プロジェクト(通称KTB)様から学生派遣の依頼を受けて行ったものです。作業は、朝6時半から茶葉を刈り取ることから始まります。そして刈った茶葉を大釜で煮たのち、天日干しします。2日ほど干す間に、釜の煮え湯を数回かけるといのが、海田番茶の独特な製法だそうです。学生たちは、猛暑が厳しい中で慣れない作業でしたが、終盤になると自分たちが率先して行えるようになりました。

現在この活動は、その番茶を大学祭や本学近隣の地区イベントにおいて販売する活動に展開させています。こうした活動を通じて、特産品を売るといういわばビジネスで、地域課題の解決に貢献できることを学生に実感してもらえればと思っています。(経営学部 教授 三好宏)



Topic

2

新発想ワークショップの開催について

2016.9.26~12.27

産学官連携センターは、岡山商工会議所との連携事業として、新たな「伴走型発想法ワークショップ」を6社において実施しました。これは、

従来から同会議所と共催している一般社会人向けの、異業種交流しながらブレインストーミングとKJ法を学ぶという「発想法ワークショップ」を、個社別対応に変形させたものです。具体的には、各企業の経営者や従業員の方々の中に学生が3～5名ほど混じり、一緒になって同社が現在抱えるビジネス上の課題の解決に向けてのアイデアを出し、まとめていくというものです。実際の課題は、文房具店舗の2階の活用法、新たな事業展開の仕方、新商品の販売方法、おかたづけ講座への集客方法等というものでした。学生たちにとっては、企業の方と意見を述べ合うという貴重な体験になったと同時に、企業の方々からも普段思いつかなかったアイデアをもらい、さっそく事業に活かしていきたいと、概ね好評の言葉を頂戴しました。(経営学部 教授 三好宏)



Topic

3

2016年度後期ボランティア論について

2016.9.27~2017.1.17

岡山理科大学、岡山商科大学、山陽学園大学、

中国学園大学の4大学でTV会議システムを使用している双方向ライブ型オムニバス授業を実施しました。本年度本学からは5名の受講者があり、大学コンソーシアム岡山で取り組んでいる日ようび子ども大学、エコナイト、ボランティア活動に関して講師を招いての講義と、4大学学生による討論、発表が行われました。特に本年度は(一社)岡山経済同友会と共同でのボランティア活動が、急遽熊本地震復興支援のため5月2日～6日に実施され、過去5年間の活動と合わせて、黒住宗道教育社会貢献委員会委員長(ボランティア団長)から報告がありました。それ以外のテーマとして、ESDについては岡山市、ソーシャルビジネスについては岡山NPOセンターの講師の方々に講義をして頂きました。(副学長 大崎紘一)

Topic

4

社祭り(式内八社の大祭)について

2016.10.9

協定を結んでいる真庭市から、真庭市社地区で行われている「社祭り(式内八社の大祭)」の神輿の担ぎ手がないため、学生に手伝ってもらいたいと協力依頼があり、10月9日(日)に本学学生7名と、岡山大学、岡山県立大学の学生を含めた約30名が参加しました。

祭りがはじまる前に、社地区の法被や巫女の衣装に着替えたところ、巫女の衣装は約20年前に着用して以来のため、地元の方から「今年は巫女さんがいる!」と喜ばれました。二宮神社から神輿を神輿にのせ、大笹神社、横見神社、形部神社、神集場と4台の神輿を担いで回り、昼食後は、慶事ごとがあった氏子さん宅まで練り歩きました。アットホームな雰囲気の中、氏子さんから温かい団子汁やお菓子、飲み物のふるまいがあり、地域の方や他大学の学生と存分に交流を深めることができました。

参加学生は、地元の方と交流する中で地域の文化や伝統に触れると共に、他大学の友人もでき、また来年も行きたい!と、とても楽しそうでした。また、本学からは中国の留学生、岡山大学からはバングラディッシュ、インドネシアの留学生が来ており、国際交流もすることができました。学びの多かった社祭り、また来年も参加したいと考えております。(産学官連携センター)



Topic

5

岡山商科大学 大学祭「投資家と学生のための会社説明会」

2016.10.22

去る2016年10月22日(土)岡山商科大学 秋の大学祭で恒例の「投資家と学生のための会社説明会」が開催されました。今回の「公開IR講演会」の共通テーマは「ヘルスケアのフロンティア」で、講師陣は、基調講演を行った経営学部教授の近藤 一仁とカルナバイオサイエンス 代表取締役社長(薬学博士) 吉野 公一郎氏、カワニシホールディングス 代表取締役社長(医学博士)の前島 洋平氏、最後は、大阪大学大学院 遺伝子治療研究科教授(医学博士)で、バイオベンチャー企業 アンジェスMGの創業者でもある森下 竜一氏の四人でした。(写真は前島社長)



これまで以上に共通テーマが興味を惹くものであったためか、大学の内外から、総勢100名近い聴講者が参加しました。まず、近藤から世界に冠たる長寿国日本の現状と依然として未解決の疾患や治療薬の実情に関する基調講演があり、

続いて吉野社長から、同社が得意とするキナーゼ阻害薬分野からの癌治療の現状と将来について講演があり、三番目は前島社長から、医薬品と並んで疾患の診断や治療に貢献する医療機器や医療資材の現状と将来について講演がありました。最後に、大学発バイオベンチャーの現状と将来と題し、森下教授から、アンジェスMG創業者としてのご経験も含め、幅広い観点から「ヘルスケアのフロンティア」を語っていただきました。

この講演会の詳しい模様は、岡山商科大学「商大レビューNo26」に掲載されておりますので、是非、ご一読下さい。(経営学部 教授 近藤一仁)

Topic

6

防災訓練

2016.11.9

2016年11月9日(水)学生教職員すべてを対象とした防災訓練を岡山市西消防署様の協力のもと、実施いたしました。

日本国内のみならず世界各地で予期せぬ大規模な地震が発生しており、今回は特に地震体験車を派遣していただき、実際に地震を疑似体験してもらいました。体験車両によるものでしたが、体験者のみならず見学者も恐怖を感じるものでした。岡山は比較的、地震は少なく、安心されている方が多いように感じますが、「南海トラフ巨大地震」が30年以内に60%～70%の確率で発生すると言われていています。この体験で真剣に防災について、考えなければならぬと自覚した者も多数いたものと思われる。訓練を通じ、少しでも防災に関心を持ち、予期せぬ災害に備えられればと期待いたします。(総務企画課)



Topic

7

津島学区コミュニティ協議会「多文化共生で築く津島の文化祭2016」に参加

2016.11.6

2016年11月6日(日)、岡山市立津島小学校体育館周辺にて行われた、津島学区コミュニティ協議会主催「多文化共生で築く津島の文化祭2016」に学生教職員が出演および模擬店を出店させていただきました。

体育館ステージでのパフォーマンスでは、(1)留学生による「中国民族舞踊」、(2)日本人学生グループによる「ダンス」を披露し、学生らしい若さ溢れる演技で会場を大いに沸かすことができました。

また、模擬店では、(3)リユース品を利用した「射的」、(4)スーパーボールすくい、(5)番茶の試飲・販売、(6)孔子学院「中国雑貨販売」と多彩に出店しましたが、地域の子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただくことができました。

今後も地域に貢献する大学として、地域活動に積極的に参加させていただきたいと思っております。(学生活動支援センター)



Topic

8

女性大学院進学者・研究者育成の為の講演会について

2016.11.16

昨年度から開始した事業であり、女性研究者

を育成することを目的に、女子学生の大学院進学促進と、女性研究者の増加を図ることを目的に開催しました。大学院進学率の最も高い経済学部において、加藤真也講師より「女性のための大学院進学への心構え」についてまずお話を頂きました。最初に加藤先生の研究室から大学院に進学した女子学生からのメッセージ、勉強に関するアドバイスなど、話をされ受講生にとっては大変参考になる説明でした。そして、これから進学を希望している学生達の関心の的である、各大学院の試験情報について話をされ、これからの勉強の方向性を明確にできる説明でした。また、山根智沙子准教授からは、「女性研究者の心構え」についてお話を頂きました。日本に於ける女性研究者の推移、女性研究者の所属組織、女性研究者の専門分野、女性研究者の割合に関する国際比較について、女性研究者の社会での状況について概括されました。その後、大学の先生は何をしているのかについて、自分の経験を踏まえてお話をされました。最後に、研究面において、女性ならではの視点から研究テーマを見つけていくことにより、面白い研究ができますよとのご示唆がありました。受講した学生は約60名でした。

(副学長 大崎紘一)

Topic 9

第5回経済学部プレゼンテーション大会について

2016.11.24

2016年11月24日、アクティブラーニングルームにて第5回経済学部ゼミ対抗プレゼンテーション大会を開催いたしました。本大会は2012年度より所属ゼミへの学生の帰属意識を高め、ゼミ生同士の交流・親睦を深めながら、協調性やプレゼン力などを磨くことを目的として開催しておりますが、年々、各ゼミの取り上げるテーマならびに発表の仕方も多彩かつ充実したものとなっております。本年度の1位は両角ゼミ(大航海時代)、2位は田中康秀ゼミ(電子マネー)、3位は佐藤ゼミ(農業)、國光ゼミ(少子化)、デザイン賞は加藤ゼミ(ゲーム理論)、努力賞は駿河ゼミ(中国の労働市場)【※()内はテーマ】でした。賞を逃したゼミは来年度に向けて雪辱を果たそうと燃えており次回大会もさらに良いものとなるのが期待されます。詳細は本学ホームページの経済学部のサイトをご覧ください。

(経済学部 准教授 山下賢二)



Topic 10

フィールドスタディ報告会について

2016.11.24

2016年11月24日、商学科は昨年引き続き第2回フィールドスタディ報告会を実施しました。これは、2015年12月から2016年11月までに岡山県内各地で行ったフィールドスタディの内容を、主に学科1年生に対して報告することで、次年度のフィールドスタディへの参加を促すことを目指しています。さらに、今回は報告をできる限り学生主体で行うようにし、フィールドスタディ参加学生のプレゼンテーション能力を向上させるという目標も付け加えました。報告会は、鴨方高校と笠岡商業の高校教員2名(欠席ではあったが、配布資料請求の高校は7校)を含む120名の参加を受け、尾道市の空き家再生プロジェクト調査、蒜山道の駅でのインタビュー調査等6つの報告がなされました。商学科では、今後も報告会を継続するだけでなく、学生の卒業論文、教員個人の研究にもつなげ、フィールドスタディの取り組みを活発にしていきたいと考えています。

(経営学部 教授 三好宏)



Topic 11

平成28年度岡山市中央卸売市場いちば大学

2016.12.3

昨年度に引き続き、岡山中央魚市株式会社 前代表取締役社長のご紹介により、「岡山市中央卸売市場いちば大学」(12月3日(土)実施)へ参加する機会を頂きました。

朝4時から水産や青果市場のせりを見学、マグロの解体見学やマイナス50℃の冷凍庫を体験し、食育講演会では食の大切さや市場の現状を勉強しました。受講後は、旬のお魚や野菜などを食材にした巻き寿司やリンゴの食べ比べなど、貴重な旬のものを沢山頂くことができました。

朝早くからのイベントでしたが、仲卸業者の方と直接お話することもでき、市場からの「食」の流通の背後にいる人の存在を感じてほしい旨や勉強の仕方と仕事の仕方、本質は等しいため、しっかり大学で学び社会で活かしてほしいと、励ましていただきました。市場関係者の方の「食」に対する覚悟と気概を実際に目で見、感じ、舌で味わう、大変有意義な経験をさせて頂きました。

(産学官連携センター)



Topic 12

出版記念講演会について

2016.12.16

二松學舎大学との共同研究の一環として、昨年度から進めていた「ショッピングモール」に関する研究の成果として、ナカニシヤ出版から2016年7月30日付で「ショッピングモールと地域」が出版されました。本学からは、経営学部の教員5名が著者となり、第1部ショッピングモールからみる地域社会について、第2章蒲和重教授、第3章岡本輝代志教授、第4章、第5章三好宏教授、第6章大東正虎教授、第7章大石貴之講師が担当しました。出版記念の講演会を12月16日岡山商科大学地域交流室で開催し、二松學舎大学渡邊和則前学長、江藤茂博文部部長、本学からは、上記5名の著者、大崎紘一学長が出席し、約80名の参加者を得て開催されました。本学としても他大学との共同研究の成果発表会であり、一般の方々への参加を頂いて、盛会裏に終えることができました。なお今後の共同研究の継続について江藤学部長から、引き続き著書の出版を考えながら次のテーマで共同研究を継続することの提案がありました。後日談ではありますが、「ショッピングモールと地域」の著書は好評で、多くの方々に読まれているので、ナカニシヤ出版から、次の著書の出版を依頼されているとのこと連絡を頂き、江藤学部長の提案を受けて、次の共同研究を進めることになっています。

(副学長 大崎紘一)

Topic 13

学会学術講演会「おはしと、いなかと、いのちの話」

2016.12.20

2016年12月20日、「酔虎伝」「八剣伝」等、全国約500店の居酒屋チェーンを展開するマルシェ株式会社の谷垣雅之氏による講演会を開催しました。

本講演は、①おはしの話、②いなかの話、③いのちの話、の三部に分かれていました。①おはしの話 森林伐採による環境問題を懸念し、マルシェグループは「割り箸の削減」や「マイ箸の普及」に外食産業の中で真っ先に取り組みましたが、そこには多くの困難があったことを語られました。②いなかの話 今後数十年間で多くの市町村が消滅すると言われていますが、地域のリーダー(Local leader)とクリエイター(Creator)と企業(Corporation)が三位一体となりチームL・C・Cを作ることで地方創生に繋がる可能性があることを示されました。③いのちの話 世界における難民問題、所得格差問題、地球温暖化問題、食糧問題などを取り上げ、これらの問題に対して若い人たちが見て見ぬふりをせず、身近で出来ることから行動することの大切さを語られました。

(経済学部 講師 加藤真也)

岡山商科大学研究ブランディング事業について

本学では、県内8市町村と包括協定を締結し、地域を基盤とした教育研究に取り組んでいます。

文部科学省から「学長のリーダーシップのもと、優先課題として全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学」を重点的に支援する「私立大学研究ブランディング事業」の公募が平成28年度より始まりました。

そこで、本学としては、各学部から研究テーマを募り、「法教育・主権者教育の現状と課題(法学部)」、「地域社会と経済 地域と政策(経済学部)」、「地域社会と経営(経営学部経営学科)」、「岡山県におけるフードビジネスに関連した地域振興に関する研究(経営学部)」、「岡山県の企業に対するクラウドファンディングによる資金調達に関する研究(経営学部商学科)」、「岡山市における観光案内サインの多言語表記について(経営学部)」、「地域活性化戦略につなげるIoTプラットフォームの開発(経営学部経営学科)」の7テーマについて研究費を配分し、研究事業を始めました。

産業界や自治体の有識者からご意見をいただくための「教育研究協議会」、また包括協定を締結している各自治体からこれら研究事業へのご協力をいただくための「IR事業委員会」を設置し、着実な事業の推進を行っています。(総務企画課)

3つのポリシーの改訂について

平成29年度4月から文部科学省「3つのポリシーの策定と運用に関するガイドライン」に基づいてポリシーの公開が義務化されていること、先進的な取組みをしている他大学では、「学力の3要素」に配慮したポリシーとなっていることに鑑み、この度、本学の3つのポリシーの全面改訂を行いました。3つのポリシーとは、ディプロマ(学位授与の方針)、カリキュラム(教育課程編成・実施の方針)、アドミッション(入学受入れの方針)であります。本学では、「学力の3要素」である(知識・技能)、(思考力・判断力・表現力)、(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)について、9個の事項(専門知識、一般知識、思考力、判断力、表現力、意欲・責任感、協調性・持続性、倫理観)を設定し、3つのポリシーを基本概念として全体を構成しています。学生に対しては、「カリキュラムポリシー」に基づきシラバスを構成し、9項目が見える化して示されています。

(副学長 大崎紘一)

マルタ共和国語学研修に参加して

2016.8.9~9.11



初授業の日、心弾ませながら教室へ向かいました。英語を英語で学ぶということがとても新鮮に思えたからです。それと同時に、本当の厳しさも体感しました。私は英語を書くことはできるのですが、話すことができないということに気付いたからです。日常生活に困らない程度の英語力では、なかなか友達ができないということにも気付かされました。

英語はあくまでも言語。文法が多少違って伝わります。間違えることを恐れない。このように考えることで、気持ちもだいぶ楽になり、少しずつですが会話に参加できるようになりました。しばらくすると、海外の友人と一緒に海に行ったり、買い物に行ったり、観光したりと、日本人だけでなく外国人とも行動を共にするようになりました。いろいろな国の人がいたので、それぞれの出身国の話も聞くこ

とができ勉強にもなりました。

今回、語学研修ということでマルタに行ったのですが、日本しか知らなかった私にとって本当に良い刺激になりました。それぞれの国でのものの見方や考え方、文化などを知ることができ、自分の無知さを改めて実感することができました。本当に価値のある経験であったと思います。

(経営学部経営学科3年・松下大雅)

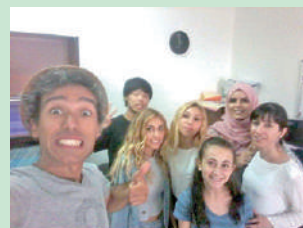
マルタ共和国へ行って本当に良かったです。若いうちに海外経験をするこ、海外の友人ができたこと、この二つが行えたからです。

前者については、若い柔軟な脳で外から見た日本を知ることができました。大人になるとたくさんの経験から何事も決めつけてしまいがちになります。そうではなく、感じたまま受け取ることができるのはいろいろな感覚が若いうちだろうと思います。

海外の友達もできました。フェイスブックやインスタグラムを交換し、お互い自国に来たら連絡を取ろうと約束しました。彼らとは寮で毎夜、お互いの国の文化を話したり将来の夢について話し合ったりしました。夢が叶ったらフェイスブックにあげて祝い、会いたいです。

総じてマルタでの経験は本当に新鮮なものでした。英語も聞き取れることはだいぶできるようになったので、大学で英語の授業を取り更に自分の力を伸ばしたいです。

(経営学部経営学科3年・中濱大茅)



エッセー
数珠つなぎ

「地域とともに」

法学部准教授 白井 諭

大阪から岡山に赴任して2年が経ちました。前任校(大阪経済法科大学)がある大阪府八尾市は(東大阪市とともに)中小企業が集積する「ものづくりのまち」であるとともに、信貴山・高安山など生駒山系を控える自然環境と歴史遺産が豊富なところでもあり、技術革新が絶え間なく進む昨今の流れに追いつき・追いつくという活気にあふれる反面で、古代から受け継がれている文化・伝統を守っていくとする取り組みが市内のいたるところで展開されていました。私自身も、地域固有の淡水魚「ニッポンバラタナゴ」(絶滅危惧種IA類)や河内木綿の保全をはじめとする八尾市高安地域の環境保全活動に学生と取り組んできました。地域の大学に勤める者は地域の発展に寄与しなければならないということを前任校での職務に従事するなかから学びました。

翻って、岡山については、瀬戸内工業地域に属していて重化学工業や繊維工業が盛んであること、桃やマスカットが名産であることといった認識を赴任する前から持っていましたが、実際に居住してみて、降水の少ない過ごしやすい地域であること、四季折々に様々な野菜や海産物が採れることなどに驚かされました。また、近所のスーパーの地場野菜コーナーで売られている野菜には、生産者の氏名がラベルに記載されているという「顔の見える」売り方をしていることも他所ではなかなか見られないものだと感じました。

赴任する直前に生まれた長女も2歳になり、いろいろなものを食べられるようになりました。本人は岡山で採れたものとの他地方で採れたものとを敏感に区別できるようで、岡山で採れた野菜を好んで食べています。もともとゆかりのなかった土地ですが、新たに職を得た縁をいかして岡山にいかなる貢献をしていけるのかを考える今日この頃です。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家 石井敏弘
本学非常勤講師(第十七期商学部卒)

三月十八日と十九日、児島文化センターで市民創作ミュージカルを上演します。倉敷市の文化事業の一環として、各地域が持ち回りで行っているミュージカルで、児島ではこれが三回目となります。私は脚本担当。

これは基本的に、各地域がオリジナルでミュージカルを創作し、市民の参加を募り、作り上げていくものです。児島はまるでプロのように、と云われるものを二回作り上げてきました。

今回は、おそらくこれまでに誰もやったことのないミステリーのミュージカルを企画しています。なんと、二日の上演で結末が変わるミステリーです。

ミュージカルですから、本格的な推理小説のように謎解きで読者に挑戦するようなものではなく、観て楽しんでもらえ、観客も推理できる程度のもので抑えています。この結末が上演日が変わるといふ試みは、制作サイドからするととてもハードルが高い。二本を同時に作るようなものだからです。

ちょっと前に、講義開始時間前に、学生さんたちにごこのミュージカルのことを告知いたしましたところ、なんと、四、五名の学生さんから観に行きたいとの申し出がありました。それも両日鑑賞したい。これは本当にうれしいことでした。

彼らは講義も非常に面白いものだったと評価してくれていて、だからこそ、私が台本を書いたミュージカルも観てみたいと思ってくれたようです。

何事も真摯に取り組んでいけば、ご褒美をもらえるものだと感じました。脚本家としての私の大半の仕事は、先日ほぼ終えました。後は演出家や参加している市民たちに託します。春に、児島によい風を吹かせ、美しい花を咲かせたい——もはや祈るだけです。

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り——2016年のイベント

1. 春節交流会

1月30日、中国で一番重視されている伝統祝日春節を地域住民や中国語講座受講生に体験してもらうために、「春節交流会」を開催しました。地域住民、中国語講座受講生、留学生など85名の参加者がありました。皆さんは餃子作りを楽しみながら、留学生、孔子学院の受講生の出し物を鑑賞しました。

2. 中国文化講座

1月、3月、7月、11月、岡山県福祉交流プラザ旭東、岡山市立御南公民館、岡山県福祉交流プラザ富原など地域公民館の要請を受けて、子供向け講座、中国茶講座などさまざまな中国文化講座を行いました。また、5月18日太極拳文化サロンを開催しました。

3. 中国語・中国文化ラジオ講座

「RSKラジオ 商大 孔子学院コーナー」中国語ラジオ講座はもう8年目になります。4月6日、新しい中国文化ラジオ講座「岡山商科大学 孔子学院 ラジオでニハオ」が初めて放送されました。本学学長、孔子学院理事長井尻昭夫教授は初回目の番組に出演しました。

4. 倉敷中国語教室開講

4月7日、孔子学院倉敷中国語教室が開講しました。中国語教室の開講は倉敷の中国語学習者に便利を提供しました。

5. 津山商業高校との交流

5月22日、岡山県立津山商業高校で中国文化交流会が行われました。高校生、教職員は餃子作り、中国の切り絵、太極拳を体験しました。6月—12月、遠隔通信システムによる中国文化講座を行いました。

6. 端午節交流会

6月9日、中国の年中行事である端午節を中国語講座受講生や地域住民に体験してもらうため「端午節交流会」を開催しました。51名の参加者は端午節の伝説などの紹介を聞き、その後孔子学院の教師と共にちまき作りなど体験しました。

7. 中医学健康法講座

6月25日、兵庫医科大学中医薬孔子学院副院長、北京中医薬大学教授梁永宣教授による中医学講座が行われました。講座は地域住民に中医学の知識を紹介しました。

8. 中国語朗読コンテスト

7月9日、受講生の学習成果をアピールするために、第三回中国語朗読コンテストを開催しました。15名の選手が発表しました。

9. 経済公開講演会

1月13日、7月22日、同志社大学グローバル・スタディーズ研究科蔵善平教授を招き、二回の経済公開講演会を行いました。二回は約280人の参加者がありました。

10. 出店

地域住民、大学生、高校生との交流を深めるために、孔子学院は今年8月、10月、11月津島小学校八朔踊り・本学大学祭・本学附属高校文化祭で屋台を出しました。

11. 中国語コミュニケーション講座

8月24日、本学の教職員のために、「第二回中国語コミュニケーション講座」を開催し、約70名の参加者がありました。

12. サマーキャンプ

8月18日-8月27日、孔子学院の引率により10名の高校生と大学生は大連外国語大学で短期留学をしました。このイベントは中国語授業、文化体験、文化考察という三つの部分からなっています。参加者は中国語の勉強をすると同時に、中国文化も体験し、現地の世界遺産や名所旧跡を見学し、中国理解と中国学生との交流を深めました。

13. 孔子学院の日・世界写真展示会

9月24日、孔子学院の創立記念日に孔子学院を一日開放しました。参加者はミニ中国語講座、切り絵、中国茶などを体験しました。イベント一環として、初めて中国世界遺産写真展示会を行いました。

14. 中国伝統芸術鑑賞会

中国伝統音楽を市民に体験してもらうために、孔子学院は今年10月15日と10月17日に二回の「伝統芸術鑑賞会」を開催しました。大連外国語大学芸術団の教師及び学生による「煙雨逍遙」などの曲が披露されました。約103名の参加者がありました。

15. 中国語教育研究会

11月12日、中国語教育における共通の問題を検討するために、広島大学大学院社会科学部教授、広島県華僑華人総会会長盧瀟教授を招き、第一回「中国語教育研究会」を開催しました。

(孔子学院 ボランティア講師 李敏)

【経営学科合同ゼミ】 ～名画鑑賞と商大野球部応援に燃える～

2016.10.15

10月15日(土) 入学前教育履修生と経営学科合同ゼミ(陳、甲元先生)の8人は、朝8時、岡山駅前の噴水場に集合しました。私たちは自分で切符を買い、倉敷駅行きのホームを探して初めて日本の電車に乗りました。日本の電車は自由席でスピードも速く、すぐに倉敷駅に着きました。

早速、倉敷美観地区では、中国語を交えて愉快的な男性ガイドの小川さんが倉敷の歴史と古い町並み、大原美術館隣接の日本庭園、大原家などを分かり易く紹介しながら案内してくれました。時間が経つにつれて、観光客もだんだん増えました。年に一度の屏風祭りの写真を撮ったり、古い商家の中に入ったり、途中で花嫁と花婿に出会ったり、橋の下の白鳥の「夢さん」「空さん」に声を掛けたりしながら、最後は昔の紡績工場の跡も見学しました。中国の騒がしい観光地と違って、ゆったりと静かな和風文化と歴史が大切に保護されていて、感嘆する一方で中国と日本の文化に何か緊密性を持っているようで好感が持てました。

次に、大原美術館に入りました。絵の知識に乏しい私たちでも、絵の魅力にはショックを受けました。芸術の雰囲気につきり圧倒されました。エル・グレコの「受胎告知」には心が震えました。北フランスの海岸の荒波を描いたクルーベの「秋の海」も大好きになりました。有名なモネの「睡蓮」もしっかり見ました。東洋館では、古代中国の発掘品や仏像も鑑賞することもできました。

アリオ倉敷レストラン街での昼食後は、電車に乗ってマスカット球場です。うちの大学と徳山大学との野球リーグ戦の応援です。中国で野球をすることも見ることもない私たちには、野球のルールは難しかったですが、陳先生が試合の進行に併せて、いろいろ詳しく教えてくれました。試合が終わる頃には、野球の魅力と緊張感をちゃんと感じるようになりました。試合は負けで残念でしたが、選手たちは大声で一生懸命頑張りましたので、面白かったです。甲元先生にももらった「さび団子」も美味しかったし、楽しくて素晴らしい課外授業でした。(入学前教育履修生 俞菲 張琳琳 李金坤)

「日本事情」課外授業 「岡山城」と「後樂園」の見学研修

2016.11.12

11月12日(土)「晴れの国」という誇りどおり、快晴の岡山の朝でした。私たち「日本事情」受講生と先生たち58名は、学園バスに乗って最初の目的地岡山城を目指しました。

城の石垣を囲む内堀に架かる内下馬橋を渡ると、もう岡山城の中です。近くの広場では菊花大会が開かれていました。いろいろな菊の花の鉢がたくさん並べられ、別の展示棚には色の違う菊を組み合わせた人形、ハート形、孔雀などきれいに飾られていました。菊を観賞しながら、早速ボランティアの考古学の出宮先生から岡山城の歴史や城郭、遺構について説明を受けました。烏城と呼ばれる黒っぽい岡山城は想像以上に大きく、最上層の天守閣からの眺望は最高でした。一番高い屋根の飾りも金色に輝いて素晴らしいと思いました。建物の中ではお姫様の着物を着るといった珍しい体験をしたり、最後には天守閣を背景に全員で記念写真も撮りました。昔の天守閣の焼失は戦争の反省材料として深く心に残りました。

次に、月見橋を渡って後樂園の正門まで、旭川の流れや竹藪の側

をゆっくりリラックスして歩いて、心が楽になりました。

後樂園では、4つのグループに分かれて、ボランティアの方が親切に心を込めてガイドしてくれました。正面入り口から程なく目の前にはぱっと広がった庭園景観には感動の一言です。静かさを保ち、優雅で、生氣を持っていて、さすが世界に誇る名園だと感じました。濃い緑の木立、広い芝生、曲水の流れ、和風建築さらには桜や楓の木も加わり、人工的な工夫と自然風景の要素を上手に組み合わせ、その素晴らしさには感動しました。池を中心に広がっている芝生と静かに立っている岩は印象的で目が離せなかったです。郭沫若の詩碑と丹頂鶴にも驚かされました。自国の庭園とは違った日本庭園文化にすっかり魅せられた後の、お茶屋での抹茶ときび団子も美味しかったです。

今回の企画とボランティアの皆さんのお陰で、知らなかった日本の魅力を発見しました。また友達と何回も行きたいと思います。有り難うございました。

(日本事情受講生 王紅玲 韓磊 常馨月 金聖訓 金有辰)

キャリアセンター便り

2017年3月卒、就活の結果は!! 現実とは・・・??

2017年3月卒業生の面接選考解禁時期が4年生の8月から6月に変更されました。しかし予想したとおり4月ごろから中小企業を中心に面接選考が行われました。特に今年度は中小企業だけでなく、大手企業の実施も増えたように感じられました。本学の場合、大手企業を意識する学生が少なく3月からの採用試験（面接選考）実施を浸透させておいたことで、結果的に毎年変更する就職活動日程に順応でき早い段階で内定を得た学生が多かったことが特徴と言えるでしょう。

2017年3月卒新卒採用の振り返り

- ① 予想どおり中小の地元企業は3年生3月の就活解禁と同時に採用活動をスタート。2016年度は日本経済団体連合会加盟企業と金融機関についてもあからさまに順守しない企業が現れた。
- ② 就活解禁から採用試験開始までの期間が短く、複数の企業を受験しにくい環境になった。採用試験実施時期が重複し、選考途中で辞退する学生が増加した。
- ③ 企業が採用目的で企画したインターンシップ(3年生の12～2月)の学生参加が定着してきた。インターンシップが就活解禁前の説明会となっている。
- ④ 就活前に企業を研究した学生としなかった学生とで就活スタートに差が出た。企業を研究せず就活した学生は意図していない企業からの内定に四苦八苦した。
- ⑤ 勤務地に拘った就職活動した学生が苦戦した(最終面接で確実に不合格)。志望理由は勤務地より仕事内容や会社内容的を絞ること。
- ⑥ 会社説明会後に求められる履歴書・エントリーシートの提出期間が短くなった。事前に準備をしておかないと期日までの提出が不可能。
- ⑦ 就職サイト主流の就職活動ではあるものの、大学に届いた求人票の中から学生に応じた企業を探し紹介するキャリアセンターマッチング内定取得学生が増えた。

2018年3月卒(3年生)対象就職ガイダンス予定表

2017年 6月21日(水)	第1回就職ガイダンス 【仕事ができそうな学生と思われたい!!】 〈地域交流談話室(学生会館2階)〉
-------------------	---

2017年 10月4日(水)	第2回就職ガイダンス 【こんな会社でこんな風に仕事がしたい!!】 〈地域交流談話室(学生会館2階)〉
2017年 11月15日(水)	第3回就職ガイダンス 【エントリーシート&履歴書】 〈地域交流談話室(学生会館2階)〉
2017年 11月22日(水)	第4回就職ガイダンス 【個人面接&グループディスカッション】 〈地域交流談話室(学生会館2階)〉
2017年 11月29日(水)	第5回就職ガイダンス 【就活前に知っておきたいS P Iの基礎知識】 〈地域交流談話室(学生会館2階)〉
2017年 12月13日(水)	第6回就職ガイダンス 【リクルートスーツ&マナー】 〈地域交流談話室(学生会館2階)〉
2018年 1月10日(水)	第7回就職ガイダンス 【就職活動の戦い方を組み立てる!!】 〈地域交流談話室(学生会館2階)〉
2018年 2月7日(水)	第8回就職ガイダンス 【3/1、就活スタート。スタートダッシュに負けるな商大生!!】 〈地域交流談話室(学生会館2階)〉
2018年 2月21日(水)	第9回就職ガイダンス 【90分でわかる就職活動～合説の回り方～】 〈地域交流談話室(学生会館2階)〉

業界研究セミナー
(2016年10月26日開催)



個人面接&グループディスカッション
ガイダンス
(2016年11月30日開催)



(キャリアセンター)

Information 情報アラカルト

2016年度部活動戦績

サークル名	氏名	学年	大会名	種目 種別 階級等	結果	出身校
空手道部	佐藤 文文	3年	内閣総理大臣杯第59回全国空手道選手権大会	組手の部	出場	西大寺高校(岡山)
	佐藤 文文	3年	内閣総理大臣杯第59回全国空手道選手権大会	個人	出場	西大寺高校(岡山)
	廣永 杏奈	2年	中国学生弓道競技大会	個人	準優勝	創志学園高校(岡山)
	人見 早紀	4年	中国学生弓道競技大会	個人	最優秀射手	興陽高校(岡山)
			中国学生弓道競技大会	男子団体	準優勝	
			第60回西日本学生弓道選手権大会	男子団体	7位	
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子団体	優勝	興陽高校(岡山)
	北川 真美	3年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	廣永 杏奈	2年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
弓道部	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
	人見 早紀	4年	第60回西日本学生弓道選手権大会	女子個人	出場	興陽高校(岡山)
剣道部	佐藤 尚貴	2年	第63回中国学生剣道優勝大会	男子個人	出場	明誠学院高校(岡山)
			第63回中国学生剣道優勝大会	男子個人	出場	明誠学院高校(岡山)
			第63回中国学生剣道優勝大会	男子個人	出場	明誠学院高校(岡山)
			第63回中国学生剣道優勝大会	男子個人	出場	明誠学院高校(岡山)
			第63回中国学生剣道優勝大会	男子個人	出場	明誠学院高校(岡山)
			第63回中国学生剣道優勝大会	男子個人	出場	明誠学院高校(岡山)
			第63回中国学生剣道優勝大会	男子個人	出場	明誠学院高校(岡山)
			第63回中国学生剣道優勝大会	男子個人	出場	明誠学院高校(岡山)
			第63回中国学生剣道優勝大会	男子個人	出場	明誠学院高校(岡山)
			第63回中国学生剣道優勝大会	男子個人	出場	明誠学院高校(岡山)
硬式野球部	岡田 誠生	4年	中国地区大学野球春季リーグ戦	1塁手	ベストナイン	岡山県商業高校(岡山)
	岡田 匡孝	4年	中国地区大学野球春季リーグ戦	2塁手	ベストナイン	岡山県商業高校(岡山)
	岡田 彼方	4年	中国地区大学野球春季リーグ戦	遊撃手	ベストナイン	岡山県商業高校(岡山)
			平成28年度中国六大学野球秋季リーグ戦	投手	5位	
	岡田 誠生	4年	平成28年度中国六大学野球秋季リーグ戦	個人	ベストナイン	岡山県商業高校(岡山)
	盛田 翔平	2年	平成28年度中国六大学野球秋季リーグ戦	個人	ベストナイン	岡山県商業高校(岡山)
	菊川 拓己	3年	平成28年度中国六大学野球秋季リーグ戦	個人	ベストナイン	岡山県商業高校(岡山)
			平成28年度中国六大学野球秋季リーグ戦	個人	ベストナイン	岡山県商業高校(岡山)
			平成28年度中国六大学野球秋季リーグ戦	個人	ベストナイン	岡山県商業高校(岡山)
			平成28年度中国六大学野球秋季リーグ戦	個人	ベストナイン	岡山県商業高校(岡山)
ゴルフ部			平成28年度中国学生ゴルフ春季1部対抗戦	団体	3位	

ゴルフ部	原 みくと	3年	第40回中国学生ゴルフ選手権大会	個人	優勝	津山商業高校(岡山)
	藤井 勝成	3年	第40回中国学生ゴルフ選手権大会	個人	3位	興陽高校(岡山)
	中西 麻奈	1年	第40回中国学生ゴルフ選手権大会	個人	3位	興陽高校(岡山)
	原 みくと	3年	第33回中国学生ゴルフ王座決定戦	個人	準優勝	津山商業高校(岡山)
	吉武 稜真	1年	第33回中国学生ゴルフ王座決定戦	個人	3位	香川西高校(香川)
	中西 麻奈	1年	第33回中国学生ゴルフ王座決定戦	個人	優勝	興陽高校(岡山)
	藤井 勝成	3年	平成28年度中国学生ゴルフ白竜閣カップ争奪戦	個人	優勝	興陽高校(岡山)
	原 みくと	3年	平成28年度中国学生ゴルフ白竜閣カップ争奪戦	個人	優勝	津山商業高校(岡山)
	中西 麻奈	1年	平成28年度中国学生ゴルフ白竜閣カップ争奪戦	個人	準優勝	興陽高校(岡山)
	洲崎 有吏	1年	平成28年度中国学生ゴルフ白竜閣カップ争奪戦	個人	準優勝	香川西高校(香川)
柔道部	石井 翔太	2年	平成28年度全日本ジュニア柔道団体重別選手権大会	個人	出場	神戸国際大学附属高校(兵庫)
	神楽 拓馬	2年	平成28年度全日本ジュニア柔道団体重別選手権大会	個人	出場	近大附属高校(広島)
	美濃 大将	4年	2016 希望郷 いわて国体 柔道競技	団体	出場	岡山理科大学附属高校(岡山)
	都築 上志	2年	2016 希望郷 いわて国体 柔道競技	団体	出場	鳴門海潮高校(徳島)
			第67回中国学生卓球選手権春季大会	男子団体	優勝	
			第67回中国学生卓球選手権春季大会	女子団体	準優勝	
	岩切 楓	4年	第67回中国学生卓球選手権春季大会	女子ダブルス	優勝	宮崎商業高校(宮崎)
	福永 加奈	4年	第67回中国学生卓球選手権春季大会	女子ダブルス	優勝	宮崎商業高校(宮崎)
	王 甲	4年	第67回中国学生卓球選手権春季大会	男子シングルス	優勝	出雲北陵高校(鳥取)
	酒井 康行	4年	第67回中国学生卓球選手権春季大会	男子シングルス	ベスト4	興陽高校(岡山)
卓球部	北野 辰樹	1年	第67回中国学生卓球選手権春季大会	男子シングルス	ベスト4	高松中央高校(香川)
	福永 加奈	1年	第67回中国学生卓球選手権春季大会	女子シングルス	準優勝	高松中央高校(香川)
	吉見有加子	2年	第67回中国学生卓球選手権春季大会	女子シングルス	ベスト4	明誠高校(岡山)
			第86回全日本大学総合卓球選手権大会 団体の部	男子団体	出場	
			第86回全日本大学総合卓球選手権大会 団体の部	女子団体	出場	
			第67回中国学生卓球選手権秋季大会	男子団体	優勝	
			第67回中国学生卓球選手権秋季大会	女子団体	準優勝	
	酒井 康行	4年	第67回中国学生卓球選手権秋季大会	男子ダブルス	優勝	興陽高校(岡山)
	北野 辰樹	1年	第67回中国学生卓球選手権秋季大会	男子ダブルス	準優勝	興陽高校(岡山)
	北野 辰樹	1年	第67回中国学生卓球選手権秋季大会	男子ダブルス	準優勝	興陽高校(岡山)
	谷口穂乃花	4年	第67回中国学生卓球選手権秋季大会	女子ダブルス	3位	岩国商業高校(山口)
	吉見有加子	2年	第67回中国学生卓球選手権秋季大会	女子ダブルス	3位	明誠高校(鳥取)
	王 甲	4年	第67回中国学生卓球選手権秋季大会	男子シングルス	優勝	出雲北陵高校(鳥取)
	福永 加奈	1年	第67回中国学生卓球選手権秋季大会	女子シングルス	3位	高松中央高校(香川)
			第38回中国学生卓球選手権長杯争奪卓球大会	男子団体A	3位	
			第38回中国学生卓球選手権長杯争奪卓球大会	男子団体B	3位	
	北野 辰樹	1年	第38回中国学生卓球選手権長杯争奪卓球大会	男子シングルス	3位	高松中央高校(香川)
	北野 辰樹	1年	第38回中国学生卓球選手権長杯争奪卓球大会	男子ダブルス	ベスト4	高松中央高校(香川)
	北野 辰樹	1年	第38回中国学生卓球選手権長杯争奪卓球大会	男子ダブルス	ベスト4	高松中央高校(香川)
	北野 辰樹	1年	第38回中国学生卓球選手権長杯争奪卓球大会	男子ダブルス	ベスト4	高松中央高校(香川)

情報アラカルト

卓球部	福永 加奈	1年	第38回中国学生卓球連盟会長杯卓球大会	女子シングルス	優勝	高松中央高校(香川)
	福永 加奈	1年	第38回中国学生卓球連盟会長杯卓球大会	女子ダブルス	準優勝	高松中央高校(香川)
	吉見有加子	2年	第38回中国学生卓球連盟会長杯卓球大会	女子シングルス	準優勝	明誠高校(島根)
	王 甲	4年	第13回全日本学生選抜卓球選手権大会	シングルス	出場	出雲北陵高校(島根)
	岩切 楓	4年	第2回オール西日本大学卓球選手権大会(個人ノ部)	シングルス	出場	宮崎商業高校(宮崎)
	谷口穂乃花	4年	第2回オール西日本大学卓球選手権大会(個人ノ部)	シングルス	出場	岩国商業高校(山口)
	福永 加奈	2年	第2回オール西日本大学卓球選手権大会(個人ノ部)	シングルス	出場	高松中央高校(香川)
			第48回中国新人学生卓球選手権大会	男子団体	優勝	
			第48回中国新人学生卓球選手権大会	女子団体	優勝	
	中尾 久志	2年	第48回中国新人学生卓球選手権大会	男子ダブルス	優勝	広島商業高校(広島)
軟式野球部	北野 辰樹	1年	第48回中国新人学生卓球選手権大会	男子ダブルス	優勝	高松中央高校(香川)
	山下 知起	1年	第48回中国新人学生卓球選手権大会	男子ダブルス	3位	尽誠学園高校(香川)
	森川 知起	1年	第48回中国新人学生卓球選手権大会	男子ダブルス	3位	広島工業高校(広島)
	吉見有加子	2年	第48回中国新人学生卓球選手権大会	女子ダブルス	優勝	明誠高校(島根)
	福永 加奈	1年	第48回中国新人学生卓球選手権大会	女子ダブルス	優勝	高松中央高校(香川)
	福永 加奈	1年	第48回中国新人学生卓球選手権大会	女子シングルス	準優勝	高松中央高校(香川)
	吉見有加子	2年	第48回中国新人学生卓球選手権大会	女子シングルス	3位	明誠高校(島根)
			平成28年度西日本地区学生軟式野球選手権1部1リーグ戦	団体	優勝	
			第39回全日本学生軟式野球選手権大会	団体	ベスト8	
			第39回全日本学生軟式野球選手権大会	団体	ベスト8	
ボウリング部	森本 海成	3年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	個人	優勝	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	個人	優勝	広島国際学院高校(広島)
	宮崎 誠也	4年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	2人チーム	優勝	大分高校(大分)
	森本 海成	3年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	2人チーム	優勝	広島国際学院高校(広島)
	原田菜津実	2年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	2人チーム	準優勝	海星高校(長崎)
	石本 美来	2年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	2人チーム	準優勝	広島国際学院高校(広島)
	高良 綾音	1年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	4人チーム	3位	那覇商業高校(沖縄)
	菊地 彩夏	1年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	4人チーム	3位	本庄高校(宮崎)
	原田菜津実	2年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	4人チーム	3位	海星高校(長崎)
	石本 美来	2年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	第33回中国地区ボウリング選手権大会	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	NHK杯第50回全日本選抜ボウリング選手権大会	個人	優勝	広島国際学院高校(広島)
	原田菜津実	2年	NHK杯第50回全日本選抜ボウリング選手権大会	個人	出場	海星高校(長崎)
	河邊 鎮治	2年	NHK杯第50回全日本選抜ボウリング選手権大会	個人	出場	岡山商大附属高校(岡山)
	野村 経博	1年	NHK杯第50回全日本選抜ボウリング選手権大会	個人	出場	岡山商大附属高校(岡山)
	中桐 秋山	4年	第53回西日本ボウリング選手権	男子4人チーム	4位	倉敷工業高校(岡山)
	谷口 直人	2年	第53回西日本ボウリング選手権	男子4人チーム	4位	岡山商大附属高校(岡山)
	谷口 直人	2年	第53回西日本ボウリング選手権	男子4人チーム	4位	宮崎学園高校(宮崎)
	上原 朋久	1年	第53回西日本ボウリング選手権	男子4人チーム	6位	豊高高校(山口)
	河邊 鎮治	1年	第53回西日本ボウリング選手権	男子4人チーム	6位	小樽高校(沖縄)
ボウリング部	森本 海成	3年	第53回西日本ボウリング選手権	男子4人チーム	6位	沼津総合高校(京都)
	高良 綾音	1年	第53回西日本ボウリング選手権	女子4人チーム	6位	岡山商大附属高校(岡山)
	菊地 彩夏	1年	第53回西日本ボウリング選手権	女子4人チーム	6位	岡山商大附属高校(岡山)
	原田菜津実	2年	第53回西日本ボウリング選手権	女子4人チーム	6位	岡山商大附属高校(岡山)
	石本 美来	2年	第14回世界ユース選手権大会	女子マスターズ	3位	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	第24回アジアボウリング選手権大会	女子トリオ	優勝	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	第24回アジアボウリング選手権大会	オールイベント	4位	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	第24回アジアボウリング選手権大会	オールイベント	4位	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	第24回アジアボウリング選手権大会	オールイベント	4位	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	第24回アジアボウリング選手権大会	オールイベント	4位	広島国際学院高校(広島)

ボウリング部	森本 海成	3年	2016 希望郷 いわて国体 ボウリング競技	4人チーム戦	準優勝	広島国際学院高校(広島)
	宮崎 誠也	4年	2016 希望郷 いわて国体 ボウリング競技	団体	出場	大分高校(大分)
	河邊 鎮治	2年	2016 希望郷 いわて国体 ボウリング競技	団体	出場	岡山商大附属高校(岡山)
	比嘉 恭平	2年	2016 希望郷 いわて国体 ボウリング競技	団体	出場	南部商業高校(沖縄)
	野村 経博	1年	2016 希望郷 いわて国体 ボウリング競技	団体	出場	沼津総合高校(京都)
	原田菜津実	2年	2016 希望郷 いわて国体 ボウリング競技	団体	出場	海星高校(長崎)
	石本 美来	2年	2016 希望郷 いわて国体 ボウリング競技	団体	出場	広島国際学院高校(広島)
			文部科学大臣杯杯争奪	男子団体(6人チーム戦)	3位	
			第54回全日本大学選手権大会	女子団体(2人チーム戦)	優勝	
			文部科学大臣杯杯争奪	女子団体(2人チーム戦)	優勝	
ボウリング部	河邊 鎮治	2年	文部科学大臣杯杯争奪	個人賞	バグム賞	岡山商大附属高校(岡山)
	石本 美来	2年	文部科学大臣杯杯争奪	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	文部科学大臣杯杯争奪	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	文部科学大臣杯杯争奪	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	文部科学大臣杯杯争奪	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	文部科学大臣杯杯争奪	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	文部科学大臣杯杯争奪	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	文部科学大臣杯杯争奪	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	文部科学大臣杯杯争奪	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
	石本 美来	2年	文部科学大臣杯杯争奪	個人賞	バグム賞	広島国際学院高校(広島)
陸上競技部	種本 千晶	1年	第29回全日本女子学生リフト射撃選手権大会	個人	出場	高瀬高校(香川)
	梶 海斗	1年	第70回中四国学生陸上競技対校選手権	1000mW	準優勝	岡山商大附属高校(岡山)
	延兼 省吾	1年	第70回中四国学生陸上競技対校選手権	4x100mR	3位	明誠学院高校(岡山)
	宮本 泰成	4年	第70回中四国学生陸上競技対校選手権	4x100mR	3位	光高校(山口)
	岡崎 雅也	1年	第70回中四国学生陸上競技対校選手権	4x100mR	3位	玉野光南高校(岡山)
	橋本 正太	1年	第70回中四国学生陸上競技対校選手権	4x100mR	3位	福山明正高校(広島)
	坂野 亮次	3年	第70回中四国学生陸上競技対校選手権	走高跳	準優勝	益田東高校(島根)
	伊藤 剛史	2年	第70回中四国学生陸上競技対校選手権	ハンマー投げ	3位	岡山商大附属高校(岡山)
	延兼 省吾	1年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	100m	優勝	明誠学院高校(岡山)
	村上宗一郎	4年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	400m	準優勝	今治南高校(愛媛)
陸上競技部	才原 亮	1年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	800m	3位	田部高校(山口)
	秦泉寺慎太郎	3年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	110mH	準優勝	高知南高校(高知)
	牛尾 貴明	4年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	110mH	3位	明誠高校(島根)
	延兼 省吾	1年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	4x100mR	優勝	明誠学院高校(岡山)
	岡崎 雅也	1年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	4x100mR	優勝	光高校(山口)
	橋本 正太	1年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	4x100mR	優勝	玉野光南高校(岡山)
	松本聖一郎	1年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	4x400mR	準優勝	岡山商大附属高校(岡山)
	村上宗一郎	4年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	4x400mR	準優勝	今治南高校(愛媛)
	庄司 貴博	4年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	4x400mR	準優勝	玉野光南高校(岡山)
	角本 憲史	4年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	4x400mR	準優勝	玉野光南高校(岡山)
陸上競技部	廣田 勇一	2年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	走高跳	優勝	岡山工業高校(岡山)
	奥田 昌樹	1年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	走高跳	3位	笠岡商業高校(岡山)
	坂野 亮次	3年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	走高跳	準優勝	益田東高校(島根)
	古志 元希	4年	第36回中国私立大学対校陸上競技選手権大会	走高跳	優勝	神代地高校(広島)
	奥田 昌樹	1年	第32回日本ジュニア陸上競技選手権大会	走高跳	4位	笠岡商業高校(岡山)
	梶 海斗	1年	第39回中四国学生陸上競技選手権大会	1000mW	優勝	岡山商大附属高校(岡山)
	廣田 勇一	2年	第39回中四国学生陸上競技選手権大会	走高跳	3位	岡山工業高校(岡山)
	廣田 勇一	2年	第39回中四国学生陸上競技選手権大会	走高跳	3位	岡山工業高校(岡山)
	廣田 勇一	2年	第39回中四国学生陸上競技選手権大会	走高跳	3位	岡山工業高校(岡山)
	廣田 勇一	2年	第39回中四国学生陸上競技選手権大会	走高跳	3位	岡山工業高校(岡山)

(学生課)

ボウリング部の活躍について

2016年度は新入部員が5名入り、14名での新チームになり、週2日のトレーニングと週3日の投球練習を行うことで着実に力を付けていきました。

その成果もあり、11月11日～13日に行われた、大学日本一を決める大会である「文部科学大臣杯第54回全日本大学ボウリング選手権大会」で女子が初優勝、男子が3位という素晴らしい成績を残しました。

個人では全日本ボウリングナショナルチームメンバーの一人でもある経営学部商学科2年、石本美来が5月20日～22日に行われた「NHK杯第50回全日本ボウリング選手権大会」で優勝、7月24日～8月3日に行われた「第14回世界ユース選手権大会」で3位入賞、9月18日～28日に行われた「第24回アジアボウリング選手権大会」で女子トリオ戦にて優勝を果たし、世界でも活躍しています。

すでに、来年度の全日本大学ボウリング選手権に向けて練習を開始しており、女子は2連覇、男子は優勝を目指して頑張っています。(ボウリング部)

税理士科目 計4科目 合格

(2015年度2科目(簿記論、財務諸表論) 合格、
2016年度2科目(法人税法、消費税法) 合格)

私は、以前から税理士になりたいという夢があり、2年生の時から資格の学校に通いながら税理士試験の勉強を続けてきました。税理士試験は難易度が高く独学で勉強して受かることはほぼ不可能に近いので、大学に行きながら講義の無い時間は資格の学校で税理士試験の勉強をしてきました。

税理士試験は多くの科目が計算問題と理論問題の2つで構成されています。計算問題では限られた時間の中で効率よく少しでも多くの問題を解答していくことが必要になります。そのため、多くの問題を解き正確さとスピードを速くするようにしました。理論問題では条文の暗記が欠かせないため常にテキストを持ち歩き、時間の空いた時には条文の暗記に努めました。

税理士試験のような難易度の高い資格に合格するためには、毎日勉強を続けていくことが必要になります。そのためには勉強ができる環境を作ることが大切になってきます。私の場合は主に資格の学校の自習室を利用し、自宅では勉強をほとんどしていませんでした。毎日勉強する時間を決めてその時間は勉強に専念し、それ以外の時間は勉強のことを一切考えないように、メリハリをつけて勉強していました。自習室を利用することにより静かな環境で、かつ、勉強するしかないという状況を自分で作り日々頑張ってきました。

税理士試験は年々難しくなっているため、税理士試験を受験する場合には予備校にいき、勉強することが合格への近道だと思います。自分に合った勉強方法を見つけ合格へと頑張ってください。(経営学部経営学科4年 藤原由卓)



インターナショナル・カフェについて

インターナショナル・カフェは、4号館跡地広場「50周年スクエア」を一望できる、レディースルーフ階の更衣室をリニューアルし2016年9月14日オープンしました。

カフェ内には、学生たちがゆっくりくつろげるテーブルイス、空調設備を完備し、清涼飲料水の自動販売機はメニューも豊富な紙カップスタイルです。

また、カフェの外にはオープンデッキにオーニング(可動式テント)を設置しているため、天気の良い日には太陽の陽ざしを浴びながらティータイムを楽しむこともできます。

オープン時間は、午前8時から午後6時なので、授業の空いた時間や帰宅前のひとときをインターナショナル・カフェで国際交流を深めてみませんか。(学生課)



クリスマスパーティー開催!

クリスマスパーティーが、2016年12月20日に学生会館で盛大に開かれました。商大初のクリスマスパーティーとして300名を越す学生と教職員の参加がありました。

パーティーのオープニングとして中国人留学生がミニファッションショーやダンスを披露し、パーティーを大いに盛り上げました。その後井尻学長によるご挨拶、また日本人学生のダンスや漫才、韓国留学生の合唱、台湾留学生の歌やゲームなどのプログラムが相次いで披露され、会場を楽しませてくれました。

パーティーの会場は初の屋外パーティーの形で行いましたが、プロジェクターやサウンドスピーカーやイルミネーションなどが活用され、素敵な会場作りが実現できました。プログラムが終了し、参加者が学生会館一階に集まり、おいしい料理やクリスマスケーキに舌鼓を打ちました。

このイベントを通じて、思い出に残る豊かな学園生活、また、日本人学生と留学生との交流が実現できた会場では笑顔がこぼれていました。後日、このクリスマスパーティーを恒例にして欲しいという声が多く届けられました。(学生活動支援センター)



2016年度私立大学等改革総合支援事業について

2016年度の申請を9月上旬に行い、本年度は新規事業として研究ブランディング事業が本事業の直前に申請とその採択の決定がされたため、本事業の採択の発表が遅れましたが、タイプ1「建学の精神を生かした大学教育の質向上」、タイプ2「特色を発揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり」、タイプ4「グローバル化への対応」、の3件が採択になりました。また、関連する平成28年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業としては、現在実施しているアクティブラーニング教育の質向上のために「ICTベースのアクティブラーニングの実施」として90台のコンピュータをアクティブラーニングルーム(図書館棟7階)に導入できることになりました。

特にタイプ1「建学の精神を生かした大学教育の質向上」では、学生教育の基本体制に関する評価項目であり、本年度から高大連携改革の推進に関する項目が追加され、多様な能力を有する学生に対応した入試体制の整備に関する設問項目が追加されました。本学は、昨年度から多様な入試への対策を始めていたため、対応ができましたし、更に2016年度は、「3つのポリシー」の改訂を行い、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3つのポリシーを「学力の3要素」を基本にして統一に対応しましたので、追加された設問項目には十分に対応ができました。しかし、教育の質向上に関するPDCAサイクルの確立に関する項目で、「教員の評価制度の設定」については、授業評価アンケート、教員活動申告書は毎年調査集計をしていますし、学生による教員評価も「学内GP」でできていますが、教育、研究、社会貢献、大学貢献活動による教員評価制度ができていないので、できるだけ早い時期に「教員活動申告書」に基づく評価制度の確立を進めて行く必要があります。

タイプ2「特色を発揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり」では、21項目ある設問の内3設問だけが加点できず、他の18設問は対応できていますので、今後は、各設問の点数を上げるべく努力をする必要があります。

タイプ4「グローバル化への対応」では、得点が5点と高い「外国語のみでの履修による卒業」、「日本人学生の在学中の海外留学の必修化」については、本学では制度としての対応ができていない、また、「海外大学へ留学する学生の割合」については、制度はできていますが留学希望の学生が少なく加点できませんでした。特に海外への留学については、海外留学支援制度を整備して留学を推進していますが、成果は今一つのところです。本学は20年前から学長のリーダーシップの下、東南アジア特に中国、韓国からの留学生の受け入れを実施しており、留学生の受け入れに関する制度は20年間で可成り整備されているため、30設問の内対応ができていない設問が上記3設問と「サマースクールの実施」の合計4設問でした。

タイプ3「産業界・国内の大学等と連携した教育研究」は、3年間連続して不採択になっています。その原因は、産学連携に関する設問では、「企業等との長期インターンシップの実施」に関する協定が締結できていないこと、「企業等との知的財産・技術の実用化、事業化」は、社会科学系の大学であるので、そのような実例がないこと、「大学発ベンチャーの設立」もないこと、他の国内大学等との連携に関する設問では、「他大学との交流協定等に基づく学生の派遣・受入」は、交流協定の締結はありますが、実績が少なくないこと、「他大学との間で学内施設・設備の共同利用」、「教員の人事交流」は殆ど行っていないことであり、今後の大学としての対応が必要です。平成29年度からは、2大学以上での「教育研究プラットフォームの設置と活動」という新しいタイプの公募が始まりますので、タイプ3との対応を見据えた取り組みが必要になっています。(副学長 大崎統一)

学位記授与式・
入学式のご案内

学位記授与式

2017年3月22日(水) 10時00分～

入学宣誓式

2017年4月3日(月) 10時00分～

※いずれも体育館

(総務企画課)

卒業記念パーティーのご案内

今年度卒業生を対象にした「卒業記念パーティー」を以下のとおり開催します。

1. 日時：2017年3月22日(水)、12時40分～
2. 場所：学生会館1・2階および周辺
3. 会費：無料

当日は、ささやかではありますが食事や卒業生の門出をお祝いする企画を用意してお待ちしています。学生生活の最終日、お世話になった先生方と名残を惜しんでいただければ幸いです。(学友会)

慶應MCC タ学サテライト
2017年度前期 開催予定

- 開催時間 18:30～20:30(開場18:00)
- 会場 岡山商科大学 地域交流談話室(学生会館2階)
- 受講料 パスポート券(15回)10,000円
受講券(1回)1,200円

4月12日(水)

<人を活かす経営>

安部 修仁 (あべ しゅうじ)

株式会社吉野家ホールディングス 会長

「吉野家の歴史から学ぶ～変える勇気と守り抜く意思～」

4月19日(水)

<人を活かす経営>

山田 邦雄 (やまだ くにお)

ロート製薬株式会社 代表取締役会長兼CEO

「真のダイバーシティに向けて」

4月25日(火)

<人を活かす経営>

高橋 俊介 (たかはし しゅんすけ)

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授

「働き方改革とワークライフ」

5月10日(水)

<人を活かす経営>

國田 圭作 (くにた けいさく)

株式会社博報堂行動デザイン研究所 所長

「行動デザイン～人を動かすマーケティングの新潮流～」

5月23日(火)

<この人に聞く>

仲道 郁代 (なかみち いくよ)

ピアニスト

「ピアノの魅力、音楽の力、芸術の力」

5月25日(木)

<心と体に向き合う>

川野 泰周 (かわの たいしゅう)

臨済宗建長寺派 林香寺住職、精神科医

「禅とマインドフルネス～現代に求められる自己への気づき～」

6月1日(木)

<未来を創る技術と戦略>

朝倉 祐介 (あさくら ゆうすけ)

政策研究大学院大学 客員研究員(前ミクシィ代表取締役)

「市場経済における会社と個人のあるべき姿」

6月9日(金)

<世界の中の日本>

佐藤 優 (さとう まさる)

作家・元外交官

「世界はどう変わるか」

6月21日(水)

<世界の中の日本>

吉川 洋 (よしかわ ひろし)

立正大学経済学部 教授、東京大学名誉教授

「人口減少とビジネスチャンス」

6月23日(金)

<世界の中の日本>

坂井 豊貴 (さかい とよたか)

慶應義塾大学経済学部 教授

「多数決ではない決め方と、多数決の正しい使い方」

6月29日(木)

<未来を創る技術と戦略>

石黒 浩 (いしぐろ ひろし)

大阪大学大学院基礎工学研究科 教授

「アンドロイドと近未来社会」

7月19日(水)

<人を活かす経営>

守島 基博 (もりしま もとひろ)

一橋大学大学院商学研究科 教授

「人視点からの人材マネジメント～働く人を幸せにする企業が強くなる～」

7月21日(金)

<未来を創る技術と戦略>

佐山 展生 (さやま のぶお)

インテグラル株式会社 代表取締役パートナー、スカイマーク株式会社

代表取締役会長、一橋大学大学院国際企業戦略研究科 教授

「新生スカイマークと企業再生」

7月26日(水)

<未来を創る技術と戦略>

佐藤 祐輔 (さとう ゆうすけ)

新佐酒造株式会社 代表取締役社長

「日本酒リノベーション」

7月27日(木)

<この人に聞く>

服部 匡志 (はっとり ただし)

フリーランスの眼科医

「人間は、人を助けるようにできている」

■お問合せ先

- 岡山商科大学社会総合研究所
〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1
TEL 086-256-6656(直通)
TEL 086-252-0642(代表)
- 岡山商工会議所 タ学講座担当
〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15
TEL086-232-2260

(社会総合研究所)